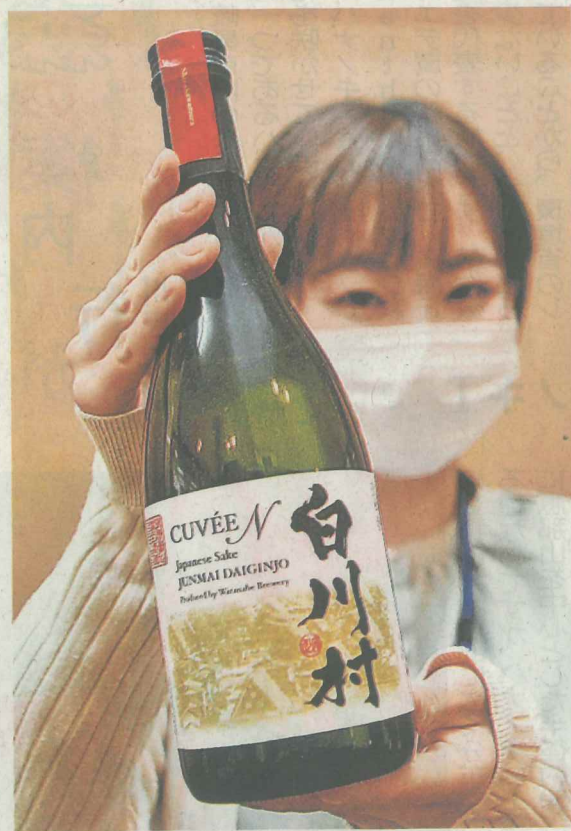


# 地元の米と水で日本酒

## 白川村大吟醸きょう土産物店で発売



13日に発売される白川村オリジナルの日本酒。同村役場

白川村産の米と水を使ったオリジナルの日本酒「白川村純米大吟醸 CUVÉE E45」が13日、村内の土産物店で発売される。

新たな特産品を作ろうと、村が2020年から生産計画を進めてきた。同村荻町で育てた山田錦と村の湧き水を使って、渡辺酒造

店(飛騨市)が醸造した。フルーティーでさらっとした飲み口に仕上がった。限定1200本を、九つの土産物店や酒屋で販売する。将来的には、ふるさと納税の返礼品にも加えるという。

観光振興課の和田貴親課長補佐は「コロナ禍で村の

観光関連業は低迷しているが、このお酒の『村内でしか手に入らない』という付加価値で、誘客につなげられれば」と意気込んだ。

720ミリびで、2968円(箱代別)。販売店舗は村ホームページに掲載する。(安井真由子)